

町政を問う

町道整備事業の 進捗状況は!!



鈴木 一夫 議員

要望に沿えるよう十分に検討を加えてまいりたい

クラウドコンピューティングへの取り組みについて

鈴木 総務省は、2015年も全自治体へクラウドコンピューティングの導入を目指している。当町のような小規模自治体においては、費用負担・職員負担の面からメリットは大きく、将来的に住民負担の軽減が図られるはずである。県内において当町がクラウドコンピューティングの先駆けとなることを期待しつつ、導入への取り組みと今後の指針について伺う。

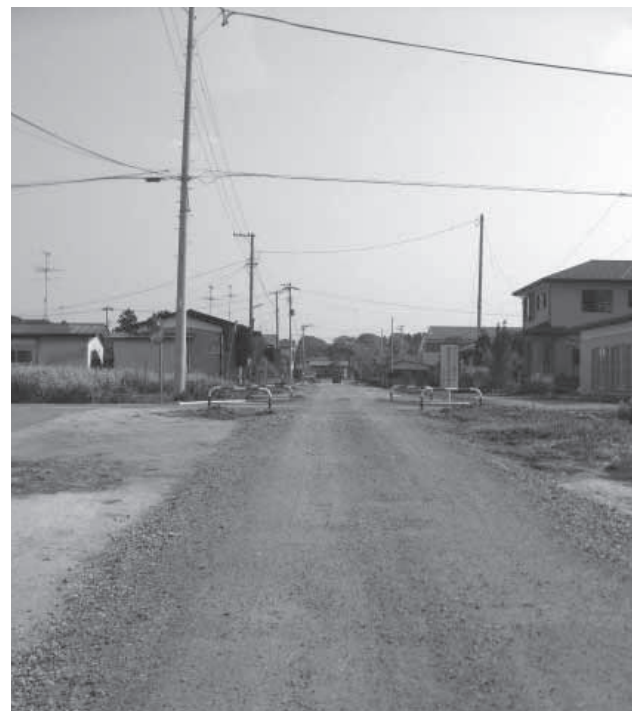
町長 クラウド導入による行政コストの削減と行政サービスの向上を期待しており、次期システムでのクラウド技術の活用を視野に入れ検討を進めている。今後は、国が明らかにする推進方策や財政的支援等の動向を注視し、共同利用の可能性も視野に入れながら、相手方となる近隣市町村などの状況も十分に踏まえ、当町にとって、また西白河地方の町村にとって最

適な情報通信技術の活用が図られるよう、関係機関と連携を密にしながら積極的に推進してまいりたい。

新町弥栄線道路整備事業について

鈴木 新町地内の国道4号線から旧国道へアクセスする路線であるが、西側地域の開発、交通渋滞の緩和、地域住民の利便性からも一刻も早い整備が望まれる。現在の進行状況について説明を求める。

町長 今年度については、未買収となっている約100区間の買収が主な事業であり、土地所有者との用地交渉を重ね、測量作業立ち入りについての了解を得、現在用地測量を実施している。今後は、隣接地権者との境界立ち会いを実施し、境界確定作業を行い、測量結果に基づき正式に買収面積、金額等の提示等を行い、年内買収に向け努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いしたい。



道路整備箇所

八幡町・善郷内線の道路整備事業について

鈴木 羽鳥幹線水路敷内、延長1512mの道路新築事業を計画策定しているが、現在の進捗状況について説明を求めたい。

都市建設課の運営方針の中にも盛り込まれている「せせらぎ水路」の事業化について、具体的にはどのように想定しているか。

町長 大型車両の交通規制や車道、歩道などの道路整備事業としての取り組みが中心となるが、地域の景観や散策等にも視点を置いた道路整備も重要と考え、せせらぎ水路等の整備についても計画し、水路の設置区間については、羽鳥幹線水路敷を利用する関係者や水利等を考慮し、駅前付近を中心とした整備を計画しており、なおご提案頂いたことについても、議員の要望に沿えるよう十分に検討を加えてまいりたい。

町政を問う



大木 義正 議員

地場産業の振興をはかれ!!

新たな担い手育成が必要

町独自の政策で
活性化を!!

大木 農業の振興と耕作放棄地の解消、商店街の活性化と空店舗対策、さらに地元業者の育成と支援策を町独自の政策も取り入れて問題を解消しながら地場産業の振興を図っていくべきだと思つが、町の考えは。

町長 今後の農業振興としては、地域の特性を生かした新たな担い手像を目指し、認定農業者や若い農業



空店舗が目立つ商店街

者を中心に持続可能な魅力ある農業、農村づくりを手厚く支援していきたい。

商店街の活性化と空店舗対策については、さらに商工会との連携を図りながら既存の空店舗を新たに利活用する際、「空店舗助成事業」などの検討を進めていきたい。地元業者の育成と支援策については、貸付事業に係る利子補給事業を行い、地元業者、企業等の育成支援に努めている。
また地元業者には小規模修繕等の発注を進めている。

町民満足度の高い
行政運営を!!

大木 町税の減収、国からの交付金の削減が予想される中、町の借金を減らしながら町民が満足する行政サービスをどのように行っていくのか、町の考えは。

町長 コスト削減や無駄の削減等を主眼とした量的な削減だけではなく、行政を経営するという新たな視

点に立ち、町民志向、成果重視の行政経営を推進し、町民ニーズに応じた質の高い行政サービスの提供を目指してまいりたい。

新年度の予算編成については、財政再建3ヵ年計画の取り組みのために先送りした事業や、新たな社会経済情勢の推移に対応する事業に積極的に取り組み、協働のまちづくりと産業振興を引き続き重点課題として、まちづくりの基盤固めを図る。



地域活性化支援事業